2026年11月4日

各　位

会社名　　ダイトウボウ株式会社
代表者名　代表取締役社長執行役員 CEO　　山内　一裕
（コード：3202　東証スタンダード・名証プレミア）
問合せ先　理事　経営管理本部
ディスクロージャー推進部長　　岡田　吉史
（TEL　03-6262-6565）

配当予想の修正および株主優待制度の見直しに関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、配当予想の修正および株主優待制度を見直すことについて決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．配当予想の修正（増配）

2026年５月８日付公表の期末配当予想を次の通り一株当たり3.0円から4.5円に修正します。

	年間配当金（円）		
	第２四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭
前回発表予想（A）	0.00	3.00	3.00
今回修正予想（B）	0.00	4.50	4.50
当期実績	0.00		
（参考）前期実績 （2026年３月期）	0.00	3.00	3.00

２．株主優待制度の見直し

2027年３月31日現在の株主名簿に記載または記録された株主様に対する株主優待から、ＱＵＯカードの贈呈金額を下表のとおり変更します。

保有株式数／期間	新		旧		増減	
	1,000株以上2,000株未満	2,000株以上	1,000株以上2,000株未満	2,000株以上	1,000株以上2,000株未満	2,000株以上
６か月以上１年未満	1,000円	2,000円	3,000円	5,000円	▲2,000円	▲3,000円
１年以上	2,000円	3,000円	4,000円	6,000円	▲2,000円	▲3,000円

（参考：例示）

今回の修正に伴う「配当予想と株主優待（ＱＵＯカード）合計の総合利回り」の変化

想定株価　130 円のケース

継続保有期間	保有株数別の総合利回り／（　）内は現行総合利回りとの比較		
	1,000 株	2,000 株	3,000 株
６か月以上１年未満	4.23%（▲0.38%）	4.23%（±0.0%）	3.97%（+0.38%）
１年以上	5.00%（▲0.38%）	4.62%（±0.0%）	4.23%（+0.38%）

なお、1,000 株未満保有の株主様は株主優待減額の影響がないため配当予想の修正による改善効果が見込まれ、3,000 株超保有の株主様につきましては配当予想の修正による改善効果が株主優待の減額効果を上回るため総合利回りの改善が見込まれます。

３．理由

（１）当社の利益配分に関する基本方針は、「競争力を維持・強化し、企業価値の増大を通じて株主の皆様に対する安定的かつ適正な利益還元を図ることを経営の最重要課題の一つと考え、利益配分については業績の向上に努め、また内部留保にも意を用いて決定すること」であり、株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題の一つと考えて、安定的な配当の継続と株主優待制度の実施により、株主還元の充実に取り組んでまいりました。

（２）このうち、適正な利益配分に関しましては、当社といたしまして、保有株式数に応じた公平な還元を基本とすることが重要であると考えており、「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」に取り組む観点からも、株主還元のあり方について、配当と株主優待のバランスを見直すことに関する検討を続けてまいりました。

（３）今般、当社の業績が概ね順調に推移していることや、今年度が株主優待制度導入満 10 周年となる節目であること、ならびに、現中期経営計画の最終年度であること等を総合的に勘案し、株主還元のあり方について改めて検討を行い、配当と株主優待のバランスを見直すことといたしました。

（４）具体的には、株主還元に充てる資金の配分方法を見直し、株主優待制度を縮小する一方、これにより生じる資金的余力を活用して配当の一層の充実を図ることで、保有株式数に応じた利益還元の比重を高めるものであります。この結果、現中期経営計画で掲げた株主優待制度の拡充については方針転換となりますものの、株主の皆様への還元をより公平で持続可能なものとすることを目的としておりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

（５）今回の見直しを通じて、株主の皆様に中長期的に当社株式を保有いただけるよう、引き続き企業価値の向上と株主還元の充実に取り組んでまいります。

なお、配当予想通りに配当をする場合の連結配当性向は、現在の業績予想をベースにすれば、112%程度となる見込みであり、株主優待と配当を合算した利益還元総ファンドは増加する見込みであります。

以上